取扱説明書 ——— 簡易取り付け型 ——— 保管用

白熱灯シーリング
（天井付専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

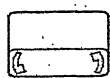
■仕様

品番	適合電球
LI-3647	E26 普通電球 60W以下x4灯
LI-3648	E26 普通電球 100W以下x4灯

この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
⊘ このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け　取扱い上の注意

すぐ取り付けられます

角形引掛けシーリング

丸形引掛けシーリングボディー

引掛け埋め込みローゼット

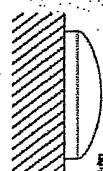
配線器具の取付工事が必要です

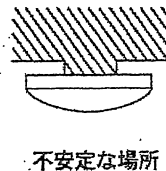
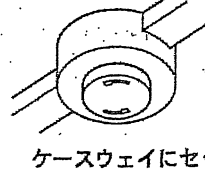
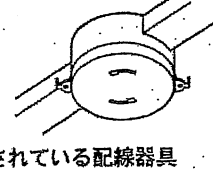
配線だけの場合
付属の引掛けシーリングボディーを取り付けてください。

アウトレットボックスの場合
市販の引掛け埋め込みローゼットを取り付けてください。

⚠警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室などの湿気の多い場所では使用できません。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による事故、その他の破損やケガの原因となります。

壁面

傾斜した場所

不安定な場所

ケースウェイにセットされている配線器具

破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下による事故の原因となります。

付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。
★一般の方の工事は法律で禁止されています。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

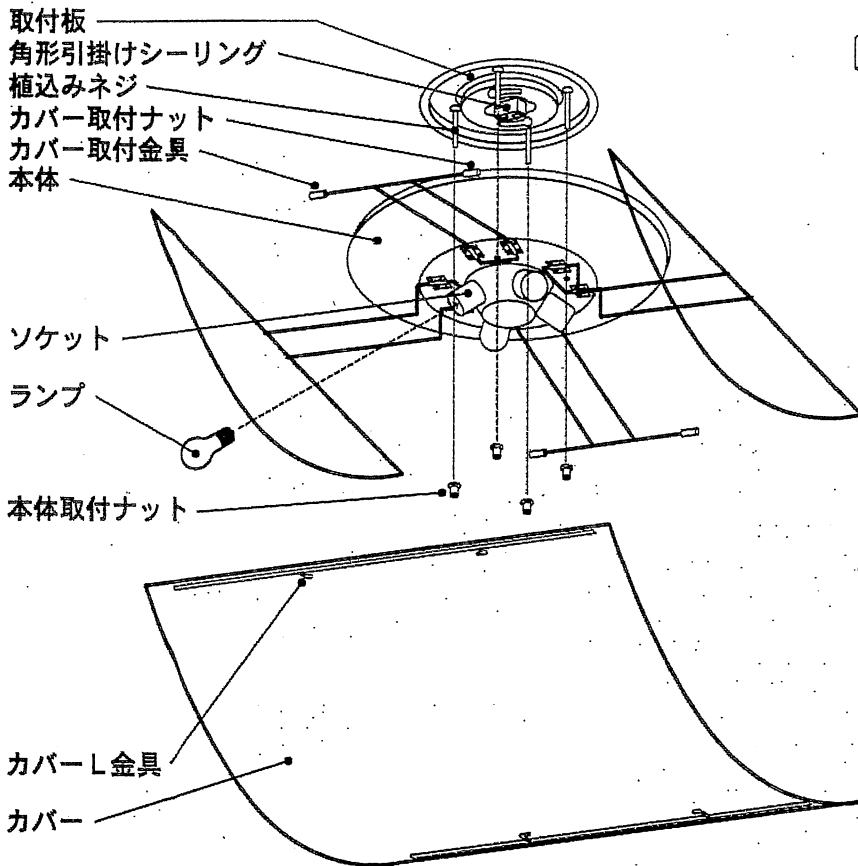
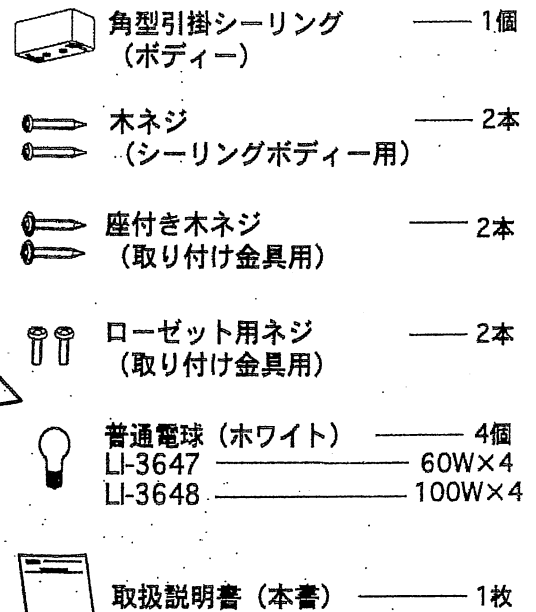
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■ 器具構成図

取付板
角形引掛けシーリング
植込みネジ
カバー取付ナット
カバー取付金具
本体
ソケット
ランプ
本体取付ナット
カバーL金具
カバー

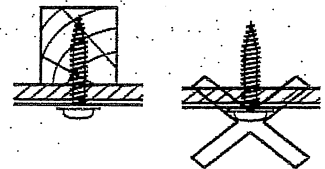
■ 付属品

- 角型引掛シーリング（ボディー） —— 1個
- 木ネジ（シーリングボディー用） —— 2本
- 座付き木ネジ（取り付け金具用） —— 2本
- ローゼット用ネジ（取り付け金具用） —— 2本
- 普通電球（ホワイト） —— 4個
  - LI-3647 —— 60W×4
  - LI-3648 —— 100W×4
- 取扱説明書（本書） —— 1枚

取り付け場所の確認

⚠ 警告

❗ 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意

❗ 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

取り付け方　⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告

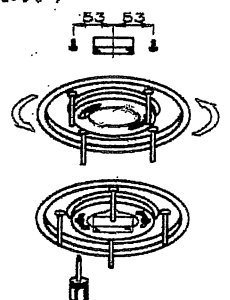
❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

1、器具本体のセット。

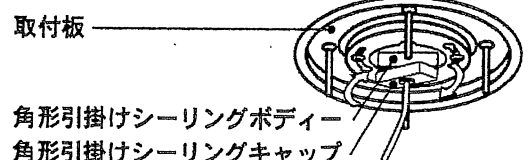
B:角（丸）型の引掛けシーリングボディーが天井についている場合
（付属の座付木ネジを利用して取り付けます。）

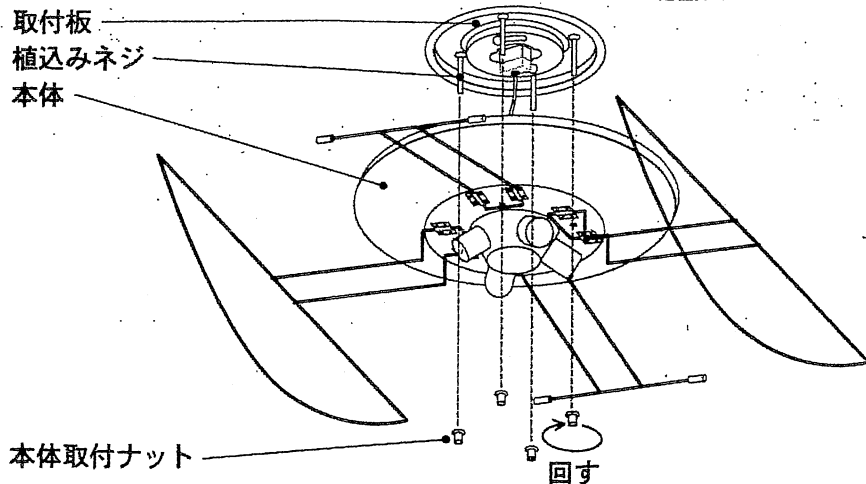
①引掛けシーリングボディーを中心に左右５３mmの位置に木ネジを３分の１ほどネジ込みます。

②取付板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取付板を左に回転させます。

③ネジが溝の中心付近にきたらネジをしっかり固定します。

2、引掛けシーリングキャップを接続します。

引掛けシーリングキャップを引掛け埋め込みローゼットまたは引掛けシーリングボディーに差し込んで時計方向に止まるまで回転させます。

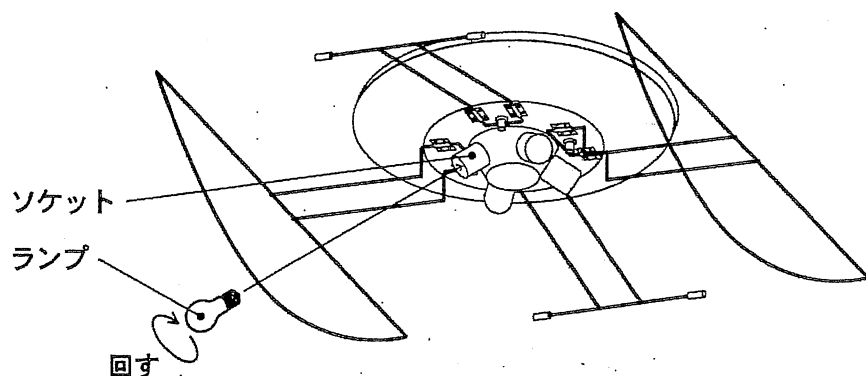
取付板
角形引掛けシーリングボディー
角形引掛けシーリングキャップ

3、本体をセットします。

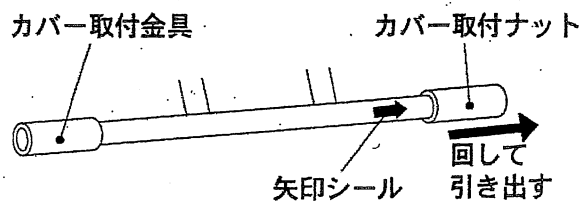
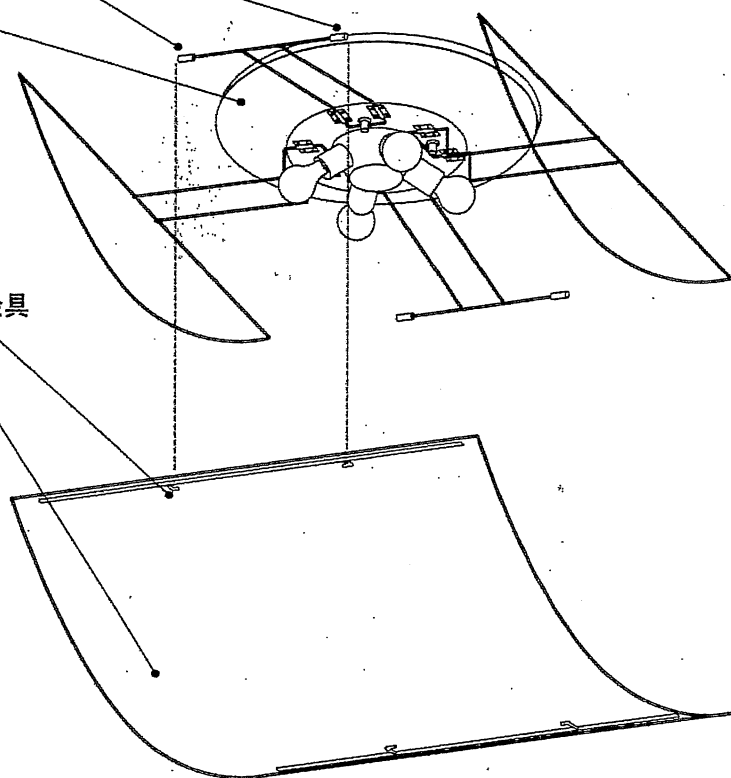
本体を本体取付用ナット（4個）で
取付板に固定します。

4、電球をセットします。

電球をソケットにねじ込みます。

注意

⊘ 電球は乱暴に扱わないでください。

⚠ ★電球が割れてケガをする
恐れがあります。

5、カバーを取り付けます。

①カバー取付金具にカバーL金具を
引掛けます。
②もう一方のカバーL金具をカバー
取付ナットに合わせます。
③カバー取付ナットを回して矢印方向へ引き出し、
カバーを取り付けます。

カバー取付ナット
カバー取付金具
本体
カバーL金具
カバー

❗ カバー取付ナットにカバーL金具を
確実に引掛けてください。
カバーの取付が不十分な場合は、
カバー落下等の原因となります。

④同様にして反対側も取付けます。

⚠ 注意

❗ カバーは布面が表です。
反対側にそらせたりしないでください。
★カバーの変形、シワ等の原因となります。

⊘ カバーの取り付けが不十分な場合はカバーの
落下による（けが）の原因となります。

❗ カバーにヒビが入っていたり、
一部が欠けている場合には、ただちに
新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

● スイッチ操作

壁スイッチにて　ON-OFF　操作を行います。

● お手入れについて ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後のランプは熱くなっています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、
またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。　★火傷の原因となります。
● 濡れた手で触らないでください。　★感電事故の原因となります。

● 電球は乱暴に扱わないでください。　★電球が割れてけがをする恐れがあります。
● 適合電球以外の電球は使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
● シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■ランプの交換

1　スイッチを切ります。

⚠ 注意

電球交換時、ぬれた手で
さわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2　カバーを外します。

①カバー取付ナットを回して、
カバーのＬ金具をはずします。
②カバーをスライドさせるようにして、
カバー取付金具から、もう一方の
カバーのＬ金具をはずします。
③カバーをぶら下げた状態にします。

3　電球を交換します。

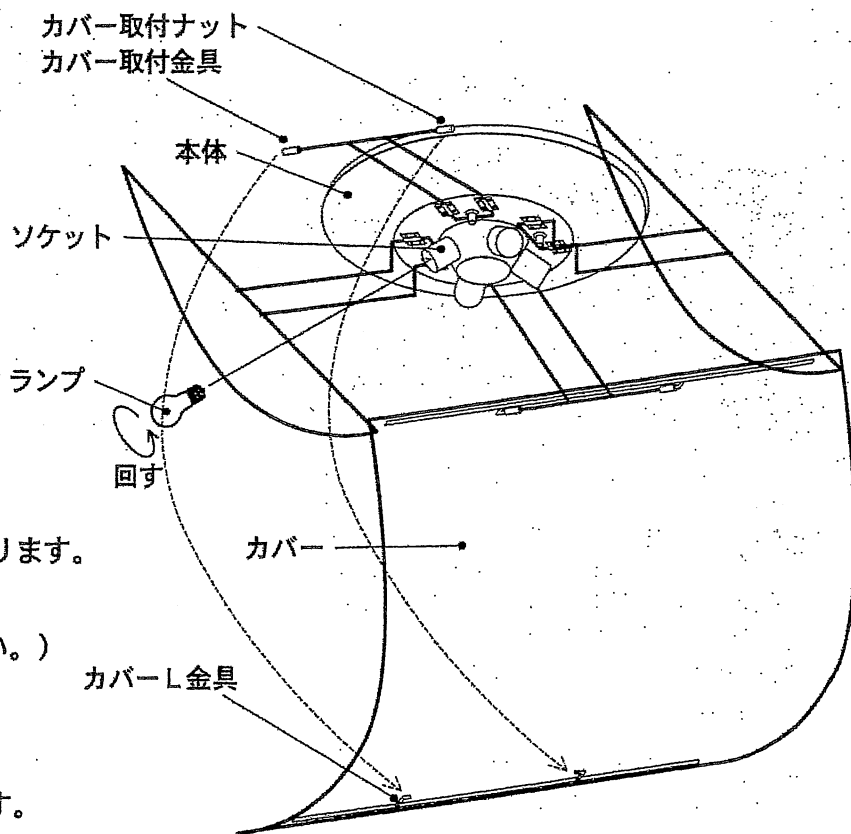
カバーを吊り下げた状態で
電球の交換を行います。

⚠ 注意

電球は乱暴に扱わないでください。
★ランプ割れ等の事故の原因となります。

4　カバーを取り付けます。

（取り付け方の「５」をご参照ください。）

カバーにヒビが入ったり、
一部が欠けている場合には、ただちに
新しいカバーと交換してください。
★カバー落下事故の原因となります。

■ お手入れのしかたについて

①電源を切ります。
②ハタキ、柔らかいハケ、ブラシなどでホコリを落とします。
③柔らかい布に水を浸し、よく絞ってからプリーツの目に沿って汚れを拭き取ります。
★必ずプリーツの目に沿って拭いてください。プリーツの型くずれ等の原因となります。
④汚れを落とした後、乾いた布で水分を拭き取ります。

■ アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。